

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 松阪市	対談項目1 県営松阪野球場の大規模改修について	<p>昭和50年に国体に合わせて建てられた県営松阪野球場は老朽化が進み、東海四県の中で唯一、プロ野球が開催されていない県営の野球場である。県の計画では現状のままとの意見もあるが、三重県の真ん中にある県営の野球場であり、国体の開催も控えていることから、県の責任としてこの県営野球場をどうしていくのか今後のビジョンを教えてください。</p> <p>団体（松阪市体育協会等）では2万人を超える署名を集めていただいた。大規模改修を求める要望書と共にお渡しする。唯一の県営野球場という責任のもとでの知事としての覚悟を聞かせていただきたい。</p>	<p>2万2千150名の署名をいただき、皆さんの思いや意向を真摯に受け止めたい。県のスポーツ審議会で作成した整備計画においては、今後10年以内にプロ野球の公式戦が開催できる施設を県内に整備するとし、松阪野球場については、現在の機能を維持するとしている。国体については、基本的には既存の施設を活用するが、どうしても整備が必要なら今後の活用を踏まえて検討していくとされている。仮に国体を松阪野球場でやることとなった場合、国体の規格上では何らかの整備は不要である。プロ野球の開催に当たっては、財政の問題のほか、球団の意向、利便性、今後の活用のポテンシャルなどを総合的に考える必要がある。</p> <p>唯一の県営だから、未来においても、このみしか整備の対象でないということではない。</p> <p>県営野球場だからこうしなければならないではなく、県の中でプロ野球が見られる、県のスポーツを振興していくことが大切であり、一番いい方法を幅広く考えていきたい。</p>

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
2 松阪市	対談項目2 松阪食肉公社の輸出対応施設への取り組みについて	<p>松阪食肉公社の老朽化に伴う建て替えについて、県の覚悟を聞かせていただきたい。輸出対応の施設にするにはそれほどプラスアルファの費用がかかるわけではない。</p> <p>また、TPPの位置づけでヨーロッパなどへの農産物の輸出をしていく方向性が出ている中で、国からも補助は出すと言ってもらえたが、こういう施設に対しても特区的な補助、支援が行われるよう国に対して一緒に要望してほしい。</p> <p>牛肉の輸出に関しては、月齢29か月以下にしか認められていないが、それ以上の牛肉を輸出したい思いが生産者にもあるので、松阪牛の長期肥育にも理解をいただくよう国と一緒に陳情してほしい。</p>	<p>松阪食肉公社の老朽化に係る建て替えについては、輸出対応にするかしないかを問わずいずれ必要と認識している。その整備に当たっては、県としても当事者意識を持って、積極的に一緒になって考え、実行していきたい。現在、施設の耐用年数の調査を行っており、9月頃に結果がまとまるとのことなのでそれを踏まえて議論をさせていただきたい。また、国に対しても強力に働きかけを行っていききたい。輸出対応の施設にするかどうかについては、生産者協議会の皆さんの意向、ニーズを伺いたいので市長にまとめていただけると幸いである。</p> <p>TPPの関連では、国が海外への輸出に係る市場調査の予算をつけているので、間にあえば25年度の海外市場開拓調査の予算を取りたいと考えている。また、県では今年度に畜産課を設置し、県の今後の畜産のあり方、予算付けなどの整理を行っている。</p> <p>東日本大震災以降、農産物の海外の輸入規制が厳しくなった面はあるが、海外との規制の在り方についても国に対して働きかけを行いたい。</p>

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
3 松阪市	対談項目3 特別支援学校校区 の現場に即した柔 軟な再編について	特別支援学校の校区の問題であるが、旧三雲町、旧嬉野町が松阪市に入ったことにより、その地域の子どもがルールとして度会の支援学校に通うこととなった。バスで1時間半くらいの時間がかかり、城山(津市)の支援学校に通うことに比べ格段に不便になった。現実には県の柔軟な運用により城山に行けるようにしていただいているが、手続きなどに非常に時間がかかり家庭に負担となっている。そのため、制度として城山に通学できるようにしてほしい。受入側(学校)としては対応は可能と聞いている。団体(特別支援教育振興会)からの要望書も手渡ししたい。	現状では、三雲・嬉野地域から6名全員の方に城山の特別支援学校に通ってもらっている。障がいのある方には、その程度、環境などそれぞれ状況が異なるので、1人1人に寄り添った丁寧な対応が必要と考える。また、実際の手続きがどうなっているのか、どこに負担があるのかを調べさせていただき、課題を抽出して対応について検討したい。学校間の引き継ぎの問題などいろんな側面を検討して、ルールを設定するかどうか精査が必要と思う。

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
4 松阪市	対談項目4 市民の幸せな暮らしを守る県補助金・県交付金のあり方について	<p>放課後児童クラブの件やコミュニティバスの件など現場の事業に影響が出る補助金や政策的な案件の補助金を廃止したり見直す場合は、額の大小に関わらず知事に報告連絡が上がるような体制にしていきたい。</p> <p>県の部局においては、市町との早目の協議・打合せをお願いします。</p>	<p>平成24、25年度の予算編成において、意思疎通が十分でないままに現場に影響を及ぼしてしまっただことについては、真摯に反省をしなければならない。昨年1対1対談の後で、市町に影響を与える補助金の運用に係る対応について、地域連携部長名で庁内に周知徹底を図ったが、まだ足りない部分がある。コミュニティバスの件などは、申し上げたい点もあるが、いずれにしても、現場の影響を考えた予算編成に進化していけるように、早い段階で協議をさせていただくようにしたい。</p>
5 松阪市	対談項目5 「松阪しょんがい音頭と踊り」の三重県指定文化財としての指定に向けた検討について	<p>「松阪しょんがい音頭と踊り」については、松阪市の無形民俗文化財に指定されて10年になるが、市内のどの地域のまつりでも披露されるほど地域に根付いた踊りである。県の指定文化財に向けた検討をお願いしたい。</p>	<p>松阪市の教育委員会から推薦をいただきたい。定められた要件に合致するかどうか、市から推薦が出されたら調査をさせていただく。</p>